



THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI

CHARTERED 2006



茨城ワイズメンズクラブ
2019年度~2020年度
9月報 Vor.133

強調月間テーマ

1-λ (YIA, YEPP, STEP)

国際会長主題 : より良い明日のために今日を築く
アジア太平洋地域会長主題 : Action
東日本区理事主題 : 勇気ある変革、愛のある行動
関東東部部長方針 : “紡ぐ” ワイズのこころ
茨城ワイズ会長主題 : 「みんな～、リーダーになろうよ～」

<9月例会プログラム>

と き: 2019年9月6日(金)

19:00~21:00

ところ: 筑波学園教会 1階

司会: 熊谷 光彦

開会挨拶と点鐘: 熊谷 光彦

ワイズソング:

ワイズ信条:

- 1、自分を愛するように
隣人(りんじん)を愛そう
- 1、青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1、世界的視野をもって
国際親善をはかろう
- 1、義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさとうろう
- 1、会合には出席第一
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・食前感謝:

卓話「農業に3年間取り組んで」

ベジLIFE! 代表 香取武彦さん

(筑波大学卒/茨城YMCA元リーダー)

協議

サイクリングイベント運営について

ハッピーバースデー&

おめでとう結婚記念日:

スマイル:

茨城YMCA報告: 大澤 篤人

閉会挨拶と点鐘: 熊谷 光彦

★巻頭言★ 笑顔 稲本 修一

弱冠20歳の新人、渋野日向子が全英女子オープンで優勝した。これはとんでもない快挙。今やゴルフ界では彼女の話題でもちきりだ。超ビクトーナメントの最中、絶やさぬ笑顔、ショットの合間に駄菓子をほおぼる庶民性、観衆とのハイタッチ、どれもが今まで見たことのない光景に日本人のみならず、世界中のゴルフファンが魅了された。

小生もただ今渋野のテークバックの美しさに惚れ込んで、フォームを矯正中だが、なかなか同じようには出来ないでいる。

ゴルフは信仰と良く似ているとある人は言った。野球と違ってキャディバックには14本ものクラブが入っている。距離に合わせて使いこなす訳だが、そんなに簡単なものではない。例えば7番アイアンは私の場合 150 ヤードを目標としているが、なかなか思うようには飛ばない、なぜか、それは飛ばしてやろうと必要以上の力が入る、この「リキミ」が悪さをする。仕事をするのは7番アイアンであって、このアイアンの性能を信じて力まらずスイングすれば自ずと150ヤード飛ぶのである。

言うのは簡単だが、そこは所詮「罪人」。クラブの性能を信じないで、闇雲に必要以上の力を込めて「親の敵を討つ」かの如くクラブを振り回す。結果散々な目に遭う。笑顔などはほど遠い、ストレスの塊と化す。そして罪人であることを自覚させられる。

まもなく第10回目の茨城YMCAチャリティゴルフが行われる。ありがたいことに140名近い参加者が与えられた。今度こそ最後までクラブにおまかせして、笑顔でラウンドしよう。

☆今月の聖句☆

ですから、私たちは勇気を失いません。たとい私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。

(コリント人への手紙 第二 4章 16節
新改訳聖書)

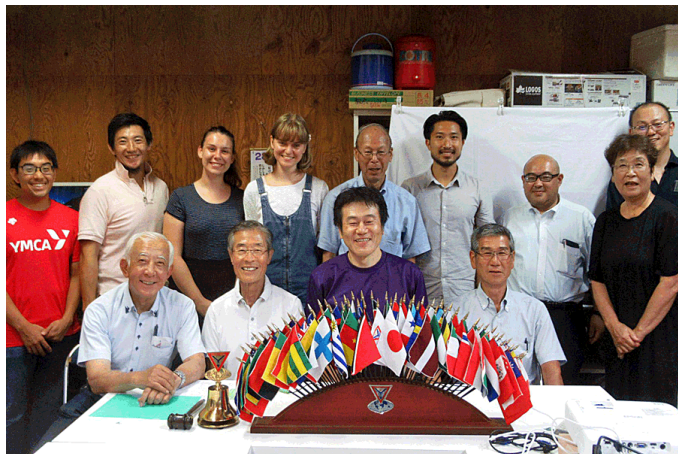
◆ワイズの目的の中に『YMCAの活動を支援する』となっております。その1つとしてYMCA維持会員になっていただいております。まだ維持会員登録をされていない方は、大澤までお申し出ください。YMCAは会員団体であり、YMCAは会員に支えられ地域に根ざした活動を展開しております。維持会員とは、YMCAの使命に賛同し、その運動に主体的に参与し、YMCAの維持、発展に寄与することを願う会員です。

【茨城ワイズ 8月例会報告】

8月例会は、関東東部部長訪問の会となり、関東東部部長の金丸様、ユース主査の衣笠様、国際交流主査の浅見様にお越しいただきました。また、海外からの留学生3名を含む、筑波大学の学生4名のゲスト参加もありました。ワイズメン5名ならびにゲストスピーカーやスタッフを含め総勢14名の会となりました。

ゲストスピーカーは宮田宣也氏。人呼んでお祭り男。神奈川県横浜市出身、筑波大学大学院ではバイオ燃料の研究をしていたものの、大学院生のときに東日本大震災に遭遇。自転車で現地へ向かいボランティアをしていたときに、住民の「お祭りがしたい」の声に応え、20年も使われないままだった祖父（元神輿職人）が作った神輿を修理し、現地にしてお祭りを行い、これが今も続く生業になっています。現在1)神輿の修復、2)お祭り運営や再開の相談受付、3)神輿の担ぎ手の手配、4)海外展開を行っており、とくに4)においては、ヨーロッパに神輿を持ち込み、現地の人を集めて担いでもらいお祭りの魅力を逆に海外から日本へ発信するというプロジェクトを展開。2017年10月31日放送の「マツコの知らない世界」にも出演しました。

<↓みなさんで記念写真>



<↑宮田さんの卓話>

*宮田さんをフィーチャーした映画のサイト
映画「祭の男」mikoshiguy.com/



<8月は浅見さんのお誕生日とのことで、カップをプレゼントいたしました>

*宮田さんのWeb ページ

<https://www.miyatanobuya.com/>

食事の写真がありませんが、熊谷会長による「夏野菜カレー」と「人参サラダ」カレーには筑波学園教会で育てた紫色のジャガイモを使用しました。また、副会長柳瀬さんから「浅漬け」と「トマトとモツアレチーズのサラダ」の差し入れもありました。

7月例会報告

出席者：会員5名（熊谷、柳瀬、金子、片山、大澤）、メネット：0名、スタッフ：2名、リーダー：0名、ゲスト：7名、出席総数数：14名、在籍者会員数9名、会員出席率：55%

【茨城ワイズ 会計・事務報告】

ワイズメンのみなさまにおかれましては、引き続き会費の前納について、ご協力を賜ればと思います。

7-8月会計報告

7月8日時点繰り越し	151,759
懇親会参加費収入	5,000
8月マイル・食事代	6,875
卓話謝礼	▲5,000
各種献金	▲1,000
懇親会支払	▲4,318
食事材料費	▲2,000
まつりつくば出店費	▲3,000
食事材料費	▲2,000
8月8日残高	148,316

昨年度分の会計の整理を進めておりますので、次号ブリテンにて報告いたします。

【茨城 YMCA 報告】 大澤 篤人

8月報告

- 3日 アドベンチャーキャンプ顔合わせ会
- 6日 主任会
- 5-6日 サービス管理責任者研修
- 8-9日 二葉こども園白組キャンプ
- 10日 キャンプエルマー準備会
- 11-12日 キャンプエルマー
- 11日 ICCPJ 最終日
- 12-16日 お盆休館
- 21-23日 アドベンチャーキャンプ
- 24-25日 まつりつくば出店
- 31日 高学年デイキャンプクラブ「トムソーヤ」

9月予定

- 2日 早天祈祷会
- 2日 主任会
- 2-6日 アジア太平洋 YMCA 大会
- 6-8日 東日本ユースリーダーズフォーラム
- 6-9日 モンゴル YMCA 総主事訪問
- 7日 アドベンチャーキャンプ/野尻湖キャンプ
思い出会
- 9日 モンゴル YMCA 総主事懇親会
- 10日 牛久センター運営委員会
- 11日 チャリティーゴルフ
- 12-13日 全国 YMCAITC 担当者会
- 13日 職員礼拝/職員会
- 14日 未就学児デイキャンプクラブ「わんぱくクラブ」

- 21日 東新井/みどりの 児童クラブ総会
- 21-23日 全国リーダー研修会
- 22-23日 ファミリーキャンプ
- 28日 障がい児者自立支援活動「たんぽぽクラブ」
- 28日 大曽根児童館まつり
- 28日 理事会

【アジア太平洋地域大会報告】

7月に仙台にて開催されました第28回アジア太平洋地域大会には、当ワイズから片山さんと大澤さん（連絡主事）が参加されました。

大澤さんより、所感をいただきましたので、以下に共有させていただきます。

仙台に来たのはステップ2研修以来、5年ぶりでした。

会場の仙台国際センターは、仙台駅から徒歩約30分、歩くのが好きな私にとっては徒歩圏内の素晴らしい会場でした。

大会は、オープニングセレモニー、高校生合唱部による「わせねでや」の演奏で始まりました。

開会式の後、2つの講演を聴くことができました。1つ目は村井嘉浩宮城県知事による、宮城県の震災復興と防災について。宮城県地域を網羅的に、責任を持って、復興と防災を用いて安心できる未来へと導くことは、大変に困難なことであると実感しました。個人的には村井知事はお話のテンポが良く、大変聴きやすく伝わりやすい講演でした。

2つ目は危機管理教育研究所代表、国崎信江さんによる、「あなたと子どもを災害から守る方法」という講演でした。非常に興味深く拝聴いたしました。地震などの災害から命を守る方法を、理論的に研究し、子どもでもわかりやすい、わたしたちでも出来るよう簡便な方法で実行できることをたくさん教わりました。講演は1時間ほどでしたが、もっとお話を伺いたかったです。茨城で呼べないでしょうか。是非皆様にも聞いていただきたい内容でした。特に、研究を始めたきっかけが、阪神淡路大震災との事でしたが、被災された訳ではなく、横浜で主婦だった当時、震災被害を客観的に見たことで危機感を覚え行動を開始されたことに感銘を受けました。

その後仙台 YMCA 村井総主事から、復興支援の状況と謝辞、日本 YMCA 同盟光永主事から全国の復興支援の状況などを伺い、日中のプログラムを終了しました。

メイン会場の脇には、メネットによる展示や、仙台を中心とした東日本大震災の被害状況と復興についてのパネル展示、地場製品の販売などを行っているブースエリアもあり、各公演の休憩中にはそちらでも有意義な時間を過ごすことができました。

光永主事の押し売りに負けて、仙台での大会でしたのにYMCA 職員へのお土産は東山荘のお菓子になってしまいました。

初日の夜は IPAP ナイト、80 以上の円卓が並ぶ広大な会場で懇親の時を持ちました。

さとう宗幸さんのコンサート、仙台雀踊りの披露などがありました。大変お恥ずかしながら、さとう宗幸さんのことは存じ上げておりませんでした。生で聴く歌声は心に響くものがありました。

同席させていただいたのは川越クラブや東京ベイサイドクラブの方々。茨城からの参加は私だけでしたのでひとりぼっちでしたが、皆様大変良くしてくださいました。

昼間のプログラムやブースエリアでもそうでしたが、全国の様々な方々と再会でき、1 日を通して素敵な時間を過ごすことができました。

帰路は以前茨城で職員研修をして下さった所沢クラブの大澤さんと、徒歩で。ホテルまでは約 20 分の道のりでしたが、方向音痴の二人でオタオタしていたところ、東京 YMCA 菅谷総主事ご夫妻とばったりお会いし、お二人に連れられて無事ホテルまでたどり着きました。ほろ酔い気分の帰路でのお話も楽しかったです。

3 日間で何度も往復することとなった道のりですが、道中広瀬川を渡る時の空気と景色は、毎回心が洗われるようでした。

2 日目はエクスカージョン、私は福島原発被災地を巡るコースに参加いたしました。

エクスカージョンの所感別途記載のものがありますのでそちらをご参照下さい。

道中、同席させていただいた大阪センテナルクラブの方や、横浜クラブの方、所沢クラブの大澤さんとのお話も、大変面白かったです。

夜は AP ナイト、大会に先んじて開かれていたアジア太平洋地域ユースコンボケーションの参加者によるパフォーマンスや、アジア各区の文化紹介などが行われました。

ちなみに片山さんはこの時初めて会場を訪れたそうです。それまでは仙台 YMCA に缶詰状態で役割を担われておりました。改めてお疲れ様でした。

3 日目は日曜日、主日礼拝から始まりました。牧師先生は日本キリスト教団毛呂教会澁谷弘祐牧師、全て英語でメッセージおはなしされました。

ちなみに今大会では、様々な国籍の参加者が話者のはなしを理解できるよう、日本語や英語をはじめとした複数の言語で同時通訳されたものが聴けるよう、無線機を無料で貸し出しておりました。私は英語が全くわかりませんので、今大会では大変助かりました。

いよいよ終盤、最終日のプログラムとして、まずIBC/DBC 締結式が行われました。拍手や歓声が次々に巻き起こる、大変な盛り上がりを見せていました。2 クラブ間でなく、3 クラブ間のトライアングルは今までもあったそうですが、今回は 4 クラブ間のスクエア、クアドラプルの締結式も行われ、どうも初めての試みとなるようでした。

その後行われた各種報告、印象に残っているのはユースコンボケーションの報告です。約一週間を通して関わりを深めていったユースの素晴らしい繋がりを、会場のみならず共有することができました。

最後に来年行われる国際大会と、再来年に行われる次回のアジア太平洋地域大会のプロモーションが行われました。2020 年にはデンマークで国際大会が開かれますが、プロモーションの映像はまるで映画の様な素晴らしい映像でした。2021 年のアジア太平洋地域大会は台湾、日本からは比較的行きやすい場所ですね。茨城ワイズからの参加者があればと思います。

全体を通して、ワイズメンズクラブのパワフルな面をしっかりと肌で感じられた大会でした。と同時に、関東東部での茨城ワイズへの期待が高まっているとも感じました。初めて茨城が部長を引き受けた時から、存在感を増しているのは間違いありません。皆様のご奉仕の精神とご尽力のおかげかと思いません。茨城 YMCA も全国の YMCA から多大な期待を寄せていただいている今、是非共に躍進して行きたいと強く感じました。

今回のような外に出かけていくタイミングでは、やはり何名か参加できるといいですね。私も微力ながら、力になれるよう頑張ります。

引き続き、福島浜通りの被災地をめぐるエクスカージョンへ参加した所感を次ページに記載します。

震災後福島県を訪れたのははじめてでした。

話には聞いていた光景ですが、改めて生活の場がこのような災害に見舞われ、片付けることもできず家にも帰れない状況を想像すると、胸が締め付けられる思いに襲われました。

至る所にある汚染土がはいったフレコンバッグの山、敷き詰められたように広がる太陽光発電パネル、以前は水田であった荒れた草原。帰宅困難地域では道路が封鎖され、家々の入り口にも柵が。重機が入っている場所も、そのすべてが放射能汚染を片付けるためだと考えると、あたたかな日常を奪い去られた上に、非常に冷たく無機質なものがおおいかぶさっているような印象を受けました。

原発の近くでも線量が低い地域も多いとのことでしたが、新たな家が建とうが復興したとは言えない。帰宅困難地域と比較するとあまりに対照的な、空き地にぽつぽつと建つ真新しい建物を見ながら感じました。

東京電力廃炉資料館の見学もさせていただきました。個人的にはかなり興味深い内容でしたので、もっと細かいところまで見たかったのですが、時間が無く残念でした。非常に立派な建物でした。だれも成し遂げたことの無い、しかし失敗は許されない作業。責任の問題やお金のことなどもさることながら、現場で危険を冒しながらの作業員の苦労や心労を想像させられました。

最後に請戸小学校を見学しました。津波で飲み込まれてしまった小学校でありながら、生徒は全員が無事に避難できた奇跡の物語は心に染み入りました。しかし、震災や津波の被害を受けた上に、原発事故のための避難を余儀なくされた当時の心境は、とても計り知れないものであると感じました。

「奇跡の物語」と称されていますが、津波への対策を本気で考えていたからこそ、偶然ではない結果でもあると思いました。震災遺構として残していくことが決まったそうですので、地震大国であり島国である日本の、これからの津波対策や被害減少に役立つものとなってほしいです。



【茨城ワイズ役員会】

新年度スタートということもあり、7月31日夕方にサイゼリヤつくばキュート店にて役員5名が集い事務的な打ち合わせの会を実施いたしました。

以下の事項につき議論いたしました。

- ① 8月2日例会準備
- ② 会員増強ならびに普段例会に参加できないクラブメンバーとのコミュニケーションについて
- ③ 茨城クラブ Facebook ページの運用について
- ④ まつりつくば準備について
- ⑤ 9月チャリティゴルフ準備について
- ⑥ 10月チャリティバザーについて
- ⑦ 11月サイクリングイベントについて
- ⑧ 11月チャリティーランについて

また、8月30日にて筑波学園教会にて以下事項について協議いたしました。

- ① 関東東部部会ならびに東京江東クラブ 60 周年記念祝会参加について
- ② 9月6日例会準備
- ③ YMCA 全国リーダー研修会参加者支援について
- ④ 11月サイクリングイベントについて
 - ・サイクリングラリー：集合場所と集合時間のみ決め、集合場所までの交通機関利用等は自由とする
- ⑤ 11月チャリティーランについて
- ⑥ 茨城クラブ Facebook ページの運用について

年末まではイベントが多いため、原則として例会の他に月1回の役員会を継続する予定です。

【編集後記】

8月上旬は全国的に猛烈な暑さとなりましたが、お盆を過ぎると徐々に朝晩は涼しさも感じられるようになり、振り返ってみれば短い夏だったように思います。

そんななかでも今年は息子と一緒にプールに行く機会が多かった夏でした。しっかりと日焼けしてしまいました。

来年は東京2020オリンピック、果たしてどんな夏になるのでしょうか。今から楽しみです。

茨城ワイズは新体制がスタートし、はや2か月。この秋にも精力的にいろんなイベントを企画しております。年末まで、みなさまお身体にお気をつけて頑張ってまいりましょう。（書記：村田）